
富山大学データサイエンス特別講座

教養としてのデータサイエンス（全3回）

日時：8月24日（火）14:00～17:20

場所：富山大学 共通教育棟 D22

対象：社会人・高校生

1	現代社会とデータサイエンス	14:00 ～ 15:00
	担当：唐渡 広志（学術研究部 社会科学系） 概要：データサイエンスの役割と重要性、どの分野でどのようなスキルが必要とされるのか、その利活用の実態などデータサイエンスの概要につき解説する。	
2	今、なぜビッグデータの利活用が注目されているのか	15:10 ～ 16:10
	担当：春木 孝之（学術研究部 都市デザイン学系） 概要：ビッグデータとは何か、現代社会に於いてなぜ注目されているのか、その利活用の実態、今後の展望などにつき解説する。	
3	社会におけるデータの活用	16:20 ～ 17:20
	担当：山根 拓（学術研究部 教育学系） 概要：社会の様々な分野で利活用されているデータの種類、その収集方法、活用の技術などにつき解説する。	

今、社会ではデータサイエンスの知識や技術を利用してさまざまな分野で活躍できる人材が求められています。「富山大学データサイエンス特別講座」では、「教養としてのデータサイエンス」を皮切りに、

- 「初級データサイエンス」（全11回）、
- 「中級データサイエンス」（全16回）

などの開講を予定しています。